

精神看護学演習

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 高崎 邦子 講師		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座		
対象学年	3	区分・時間数	演習 22.5 時間
期 間	前期		
単 位 数	1 単位		

・学修方針（講義概要等）

精神保健上の問題を抱えている患者を、患者としてだけ見定めるのではなく、その人に固有の生活の背景や、家族と地域生活との関係において理解する。精神疾患をもつ患者の回復を助けるために必要な治療的援助関係をアセスメントし、看護師が自らケアを提供する手段や方法を事例を用いてかかわり方を学習する。特に患者の生活史や家族背景、地域環境要因を把握し、患者の言動の持つ意味を多面的に理解できることによって、治療の場の構造や文化を看護に活用することを目指す。

・教育成果（アウトカム）

既習した精神保健領域における基礎的な知識を基に、精神疾患を持つ人への看護とは何かを自ら考え、実践できる力を養う。精神疾患を持つ人への看護を考えるためには、疾患および生活史や家族背景、地域環境要因を踏まえ、患者の言動の持つ意味を多面的に理解し、治療の場の構造や文化、患者看護師関係、患者のストレンクス、さらには自己理解を活かした看護を創造する必要がある。そのために必要なアセスメント能力や実際の看護展開に活かせるような対人的な能力を身につける。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマポリシー：2,4,5,7

・到達目標（SBO）

1. 患者の言動の意味を多面的に理解し、疾患別や個人別の対人関係パターンを捕らえるための方法を理解できる。
2. 患者の置かれた状況、家族関係を取り巻く対人的な環境についての査定を行うことができる。
3. 患者自らが効果的な治療環境を選択できるように促すことができる。
4. 包括的な視点で関係性を捉え、学生自身の感情を活用した看護を考察できる。
5. 患者の生きにくさやストレンクスに焦点を当て、治療の場の構造や文化、患者看護師関係、さらには自己理解を活かした看護を創造できる。
6. 回復過程に伴う療養上での困難な課題を患者とともに共有し、解決できるようなケアの見通しが持てるように演習によって体験したことを言語化できる。

・ 授業日程

(矢) マルチメディア教室、 (矢) 大堀記念講堂、 他

【演習】

月日 (曜) 時限	講座(学科) 担当教員	授業内容/到達目標
4/6 (木) 3限	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師	<p>関係性のアセスメントの基本1 異和感の対自化とプロセスレコード①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関係をアセスメントすることの意味を説明できる ・ 感情を活用したケアの方法について説明できる ・ 異和感の対自化およびプロセスレコードを記載できる <p>【事前学修】 30分程度 WebClass のプロセスレコード、異和感の対自化の記載例、感情・身体感覚一覧表を読む</p> <p>【事後学修】 Portfolio の記載</p> <p style="text-align: right;">(マルチメディア教室)</p>
4/14 (金) 1限	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師	<p>関係性のアセスメントの基本2 異和感の対自化とプロセスレコード② (グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自身が記載したプロセスレコード・異和感の対自化の内容を他者と共有できる ・ プロセスレコードからやりとりの意味をディスカッションできる ・ 異和感の対自化から具体的な異和感の投げ返し (自己一致) の方法を見出せる <p>【事前課題】 60分程度 プロセスレコードおよび異和感の対自化のシートに 1 か月以内に体験した気がかりな場面を記載する。</p> <p>【事後学修】 Portfolio の記載</p> <p style="text-align: right;">(マルチメディア教室)</p>
4/14 (金) 2限	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師	<p>実習記録を用いたアセスメント方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 精神看護学実習で用いる記録用紙でのアセスメント方法を理解できる ・ 自分について記録し、他者に説明するとともに自己理解を行う ・ 自己と他者の違いを理解し、多角的な視点で物事を捉えることができる。 <p>【事前課題】 30分程度 記録用紙の確認し、自己記録の内容を記載する</p> <p>【事後学修】 30分程度 Portfolio の記載</p> <p style="text-align: right;">(マルチメディア教室)</p>
4/19 (水) 1限	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師	<p>関係性のアセスメントの展開1① 統合失調症患者のケア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「統合失調症患者の事例」について、ワークにより実習用記録用紙を用いた看護アセスメントを展開する ・ 実習記録用紙の記載方法について理解できる ・ 積極的に各ワークに参加し、記録やディスカッションなどで自身の考えや思いを表現できる <p>【事前課題】 60分程度 事例を確認し、所定の記録用紙に記載する</p> <p style="text-align: right;">(大堀記念講堂)</p>

<p>4/19 (水) 2限</p>	<p>地域包括ケア講座 遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師</p>	<p>関係性のアセスメントの展開1② 統合失調症患者のケア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統合失調症についてこれまでに学習した診断と疾病分類に基づいた発病と回復のプロセスを活用し、対人関係に着目してアセスメントを行う。ワークやディスカッションによる成果は、発表し全体での共有を図る。 ・統合失調症患者の看護アセスメントを展開できる <p>【事後課題】30分程度 Portfolioの記載 (大堀記念講堂)</p>
<p>4/21 (金) 3限</p>	<p>地域包括ケア講座 遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師</p>	<p>関係性のアセスメントの展開2① 気分障害患者のケア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「気分障害患者の事例」について、ワークにより実習用記録用紙を用いた看護アセスメントを展開する ・積極的に各ワークに参加し、記録やディスカッションなどで自身の考えや思いを表現できる <p>【事前課題】60分程度 事例を確認し、所定の記録用紙に記載する (大堀記念講堂)</p>
<p>4/21 (金) 4限</p>	<p>地域包括ケア講座 遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師</p>	<p>関係性のアセスメントの展開2② 気分障害患者のケア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気分障害について、これまでに学習した診断と疾病分類に基づいた発病と回復のプロセスを活用し、対人関係に着目してアセスメントを行う。ワークやディスカッションによる成果は、発表し全体での共有を図る。 ・気分障害患者の看護アセスメントを展開できる ・災害時における精神看護について説明できる <p>【事後学修】30分程度 Portfolioの記載 (大堀記念講堂)</p>
<p>4/28 (金) 3限</p>	<p>地域包括ケア講座 遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師</p>	<p>関係性のアセスメントの展開3 神経症性障害、ストレス関連障害患者のケア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神経症性障害、ストレス関連障害患者のアセスメントを展開できる <p>【事前学修】60分程度 キーワードについて自己学習し、Portfolioの記載 【事後学修】30分程度 Portfolioの記載 (マルチメディア教室)</p>
<p>4/28 (金) 4限</p>	<p>地域包括ケア講座 遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師 ゲストスピーカー</p>	<p>関係性のアセスメントの展開4 精神を病む体験とケア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神疾患を持つ当事者および家族の体験を聴き、苦痛や苦悩を共感的に理解できる ・当事者および家族の体験を聴き、看護について自分なりの考えを述べる事ができる <p>【事後課題】30分程度 レポート課題：体験を聴いた感想を記載・提出 (マルチメディア教室)</p>

5/10 (水) 1限	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師	関係性のアセスメントの展開5① 社会のなかの精神障害 社会のなかの精神障害について再考し、精神障害者が社会のなかでどのような「生きにくさ」を抱えているのか、また同時にどのような強さ（ストレングス）を持っているのかについて、視聴覚教材を用いて理解を深める。 ・精神障害者が抱える「生きにくさ」と、「強さ（ストレングス）」について理解できる 【事前課題】60分程度 キーワードについて自己学習し、Portfolioに記載 (マルチメディア教室)
5/10 (水) 2限	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師	関係性のアセスメントの展開5② 社会のなかの精神障害 視聴覚教材を視聴後、障害を抱える人々が抱える「生きにくさ」とそれが何によって生じるのかのレポートを記入し、ディスカッションを行う。 ・課題に沿って考え、積極的にディスカッションに参加し自らの考えを表現できる ・実習記録用紙の記載方法について理解できる 【事後課題】60分程度 精神医療の課題についてレポート提出 (マルチメディア教室)
5/18 (木) 3限	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師 ゲストスピーカー	患者への接近法Ⅰ① 入院治療と看護の展開 ・病棟での実際の事例をロールプレイで学ぶ ・精神障害を抱える患者へのケアの方法を身につけるために、実習病院の看護師とともに学生もロールプレイに参加する ・積極的に参加し自身の考えを表現できる 【事前課題】60分程度 キーワードについて自己学習し、Portfolioに記載 (大堀記念講堂)
5/18 (木) 4限	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師 ゲストスピーカー	患者への接近法Ⅰ② 入院治療と看護の展開 ・ディスカッションにより精神科でのケアのあり方について考察する 【事後課題】30分程度 レポート課題 (大堀記念講堂)
5/24 (水) 1限	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師 ゲストスピーカー	患者への接近法Ⅱ① 地域における看護の展開 ・地域における精神看護を、精神科訪問看護の立場および当事者の立場、当事者家族の立場などから学ぶ。 ・訪問看護師、その他の職種とともに学生もロールプレイに参加する 【事前課題】60分程度 キーワードについて自己学習し、Portfolioに記載 (大堀記念講堂)
5/24 (水) 2限	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師 ゲストスピーカー	患者への接近法Ⅱ② 地域における看護の展開 ・ゲストの語りから、地域における精神看護の役割、自分自身の課題について考察する ・ディスカッションにより精神科でのケアのあり方について考察する 【事後課題】30分程度 レポート課題 (大堀記念講堂)

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学 [1] 精神看護の基礎 第6版	武井麻子他	医学書院	2021
教	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学 [2] 精神看護の展開 第6版	武井麻子他	医学書院	2021

・成績評価方法

定期試験（記述式、多肢選択）60%、演習への取り組み20%、レポート20%として評価する。

【評価基準】

- ・演習への取り組み：記録10点、話し合いの態度10点
- ・レポート：全4回（4/28、5/10、5/18、5/24）各5点 ①具体的な課題や考察が記載4点（感想のみ2点）、②引用・参考資料を用いて記載1点

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

- ・事前・事後学修はPortfolioにまとめる。
- ・事前学修は、各回の授業内容欄に記載された所要時間を参考に所定の用紙に記載をする。提示されたkeywordがある場合は調べてまとめておくこと。各回最低30分を要する。
- ・事後学修は、所定の事後学修シートに、各授業回の学修の要点をまとめる。各回最低30分を要する。その他、レポート課題等がある場合もある。
- ・授業中に映写するパワーポイント資料はWebClassに掲載するので必ず確認し、理解不足だと思う点を教員に質問し、その都度放置せずに事後学修すること。

【Portfolio】

- ・指定した期限内に提出したPortfolioは定期試験への持ち込み許可。
- ・Portfolioには、精神看護領域のスタンプが押されたもののみ綴じる。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

- ・各授業の最後に行う習得度チェックについては、授業内に解答・解説を行う。
- ・リアクションペーパーは、次回の授業においてコメントを付すなどしてフィードバックする。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師（別表3）：専門分野Ⅱ 精神看護学

【その他】

講義では、教員、実習病院指導者、訪問看護師、精神障害を抱える当事者やその家族等と学生とのディスカッションにより、精神看護のケアのあり方について理解を促す。また、スマートフォン等からICTの利用によるアンケートフォーム（Custom form®）を通して、学生の意見の共有や理解度の確認を行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
演習・講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影、ロールプレイ及び視聴覚教材の投影
講義	PC	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用スライド投影、演習内容発表投影
演習	ビデオカメラ	1	ロールプレイ撮影